

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年2月6日

事業所名 しあわせ駅 浦添

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・広々とした事業所となっています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1		・児童指導員の人数の確保ができた。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	・段差が少なく、スロープもあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	・あまり物を置かず、伸び伸び過ごせる空間を作れた。	・設備の不備があるので、徐々に対応していく予定。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	・小まめに会議を持ったり、改善を行うことができた。	・これからも継続して会議や改善を行っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	・毎年実施し、業務改善に繋がっています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・毎年実施し、公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		・今後導入を検討中。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	・外部研修・事業所内勉強会の実施	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・対象児にあった計画を作成できました。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	・統一したものを使用	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	・担当会議を実施しながら行う事ができた。	・地域支援についてはこれから行なっていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・全職員で計画書の内容を確認しながら支援することができた。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	・職員会議にて導入できている。	・パートさんも含めて全職員で行えるようにする。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		・利用スタートしたばかりで様子見の為、今後対象児に合わせたプログラムを作成予定。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1		・利用スタートしたばかりで様子見の為、今後対象児に合わせたプログラムを作成予定。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・朝礼、昼礼、終礼を行い確認をとっている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・朝礼、昼礼、終礼を行い確認をとっている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・毎日記録を取り、振り返りながら改善することができた。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	2		・これからモニタリング予定。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	・最もふさわしい者が参画することができた。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	3		・該当児童なし
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	6		・該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6		・該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5		・該当児童なし
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	3		・該当児童なし ・これから必要に応じて行なっていく予定
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		・モニタリング等を通して今後行なっていく予定。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6		・他事業所との交流会は検討中。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	・浦添市内の連絡会に参加している。	・今後も全職員が参加できるようにしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・送迎時や家族支援を通して行なっている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5		・必要に応じて行っていく予定。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	・契約時に説明することができた。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	・保護者へ内容の説明を行い、確認することができた。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・送迎時や個別での電話等での対応を行う事ができた。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	・夏祭り等	・今後は年に1～2回程度を目標に開催していく予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	・迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・利用カレンダーやLINEを活用して発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・十分に配慮することができた。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・十分に配慮することができた。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	・夏祭りにて学生ボランティアさんにご協力頂きました。	・検討中。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	・年に2回実施することができた。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・年に2回実施することができた。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	・契約時に確認することができた。	該当児童なし。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		・該当児童なし。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・ヒヤリハット事例集を作成することができた。	・職員の入替わりもあった為、改めて研修を行う。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	・職員会議にて研修を行う事ができた。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3		・該当児童なし。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。